

## 第4 地域創生



## 第4 地域創生

地域創生部は、市町村と連携して過疎地域や特色ある地域づくりを支援するとともに、「ぐんま暮らし」のブランド化による移住促進や、県外に在住しながらも継続的に県内地域との関わりを持つ関係人口の創出を図るための各種施策を行った。また、芸術文化・スポーツの振興により、魅力や活力のある地域づくりを推進するための各種施策を行った。

令和4年度は、新・総合計画（基本計画）のビジョン実現に向けて、次の重点施策に積極的に取り組んだ。

### 【令和4年度の重点施策及び主な取組】

#### 1 県民総活躍社会の実現

##### (1) 多文化共生・共創

- ・外国人県民のコミュニケーション支援・外国人県民が安心して暮らせる環境を創るための生活支援
- ・ぐんまを創る「仲間」である外国人県民とともに新たな価値を創造していくことを推進

##### (2) 移住者や関係人口を構成する人々の活躍

- ・ぐんま暮らしのブランド化による移住促進・関係人口創出

#### 2 官民共創コミュニティの育成

##### (1) 地域課題解決

- ・住民主体の地域活動（地域運営組織、地域づくり団体等）の促進
- ・地域おこし協力隊の起業・継業や特定地域づくり事業協同組合の設立を支援

##### (2) スポーツによる地域創生

- ・県内のプロスポーツチームの魅力発信や活動サポート、プロスポーツを核としたスポーツの成長産業化
- ・アウトドアスポーツを活用した交流人口増大
- ・本県スポーツ選手の活躍により、県民の感動・誇りを醸成

##### (3) 文化による地域創生

- ・新しい文化価値の創造
- ・アートを活用した地域振興
- ・文化財や歴史文化遺産の保存・活用

## 1 地域創生費

### (1) 総務調整費 決算額 6,020 千円

部内予算の適正、効率的な執行を図るため、部内共通経費や年度途中に機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区 分	内 容	金 額
主管課運営費	部内共通経費等	994 千円
部局調整費	感染防止対策等	4,820
指定管理	指定管理者評価委員会	206

### (2) 社会参加費 決算額 22 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等の支出を行った（執行所属数：3課2所）。

### (3) 文化スポーツ施設等特別維持整備費 決算額 34,828 千円

地域創生部所管の県有施設で緊急に必要となる補修工事等に機動的、弾力的に対応した。

修繕費	役務費	工事費	備品費	合 計
22,200 千円	58 千円	10,284 千円	2,286 千円	34,828 千円

### (4) 地域政策推進 決算額 4,487 千円

#### ① 地域づくりネットワーク推進

県内約 170 の地域づくり団体と県・市町村で構成する「群馬県地域づくり協議会」の運営を通じて、研修会の開催、優良団体の表彰、情報誌の発行等を行い、構成団体の活性化とネットワーク化を図った。

#### ② 両毛広域都市圏総合整備推進

東毛地域と隣接する栃木県足利市、佐野市を含めた広域的な都市圏について、両県及び関係市町で構成する両毛広域都市圏総合整備推進協議会の運営を通じて、公共施設相互利用等による地域交流を推進し、圏域の一体感の醸成に努めた。

#### ③ 群馬県版図柄入りナンバープレートの導入

「走る広告塔」として、ぐんまちゃんデザインの群馬県版図柄入りナンバープレートの導入方針を決定。令和 4 年 7 月、国土交通省に対して導入申込を行い、同年 11 月には図柄の提案を行った。

### (5) 地域調整費

振興局等において地域の政策課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域調整費を活用し、地域の振興及び活性化を図った。

#### ① 地域振興調整費（地域振興事業） 決算額 41,012 千円

地域の振興及び活性化、地域の課題解決、将来に向けた芽出しのための事業に機動

的、弾力的に対応したほか、県民が県政に参画するための各種事業を実施した。

・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
国登録有形文化財「重田家住宅」活用 (中部振興局)	地域活性化のため、展示やライトアップ、ワークショップ等のイベントを行った。	449千円
伊香保ハワイアンフェスティバルに伴うDX推進 (北群馬渋川振興局)	サテライト会場に、主会場のライブ映像を上映するビジョンカーを配置し、密集回避、周遊促進を図った。	1,000
新町フェスタ 2022「防災展示・体験による水害意識啓発イベント」 (高崎安中振興局)	新町防災アリーナの防災機能の周知や情報発信、防災に関する展示や体験等のイベントを行い、防災意識の向上と地域活性化を図った。	500
高山社跡を楽しもうキャンペーン (多野藤岡振興局)	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である高山社跡の注目度向上や来訪者数の増加を図るため、体験イベントやラジオ公開放送、映画鑑賞会等を実施した。	358
地域観光拠点周遊パンフレット作成 (甘楽富岡振興局)	観光客の周遊を促進するため、地域の観光施設等を巡るパンフレットを作成・配布した。	170
ダム完成記念イベント ハッ場ダムフェスタ (吾妻振興局)	ハッ場ダムを身近に感じていただくため、コロナ禍で延期されていたダム完成記念イベントを実施した。	500
石墨棚田イルミネーション (利根沼田振興局)	子供達の「ふるさと愛」を育むため、地域の中学生と協力して「つなぐ棚田遺産」に選定された石墨棚田のイルミネーションを実施した。	128
館林商工会議所創立75周年記念事業「光」と「音」と「食」の芸術祭プロジェクト マッピングアート in 館林 (東部振興局)	地域振興に寄与することを目的に、群馬県立館林美術館の白壁に日本遺産「里沼」等のプロジェクトマッピングアートを投影した。	500
桐生みどり地域活性化事業「キミの夏」 (桐生みどり振興局)	子供達の地域への愛着を高め、地域活性化を図るため、地域の豊かな自然や食に触れ、地域の良さを知ってもらう体験型イベントを実施した。	234

## ② 地域公共事業調整費

決算額

319,491 千円

複数の分野に関わる公共事業を実施し、地域課題の解決を図った。

## ・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
街路樹管理 (中部振興局)	県管理道路のケヤキ並木の景観改善のため、老朽化した並木全体の樹勢回復と現存する枯れ枝の除去を行った。	8,000 千円
野田宿側溝整備 (北群馬渋川振興局)	県管理道路において、伊香保街道「野田宿」等への来訪者の安全確保のための側溝整備を行った。	10,450
九十九川桜並木を活かした観光振興対策 (高崎安中振興局)	九十九川桜並木の来訪者の利便性向上及び安全対策のため、県管理道路において、遊歩道の整備を行った。	8,000
親水公園施設安全対策 (多野藤岡振興局)	景観の向上及び観光客や地域住民に親しまれる河川整備のため、親水公園内の老朽化した階段のリニューアルを行った。	11,500
河川の木柵更新 (甘楽富岡振興局)	涸沢川沿いの桜並木の景観改善と安全対策のため、県産材により木製防護柵の更新を行った。	2,014
はなもも街道整備 (吾妻振興局)	日本ロマンチック街道である県道において、土砂流出の防止と景観改善による地域のイメージアップのため土留め柵を更新した。	3,795
防護柵補修 (利根沼田振興局)	安全対策及び利根沼田サイクルツーリズムの推進のため、県管理道路における雪崩によって損傷したガードレール等を景観に配慮したガードケーブルに交換した。	6,000
舗装補修 (東部振興局)	多数の工業団地を有する太田市の産業基盤となる県管理道路の路面損傷が著しいため、舗装状態の悪い区間の舗装補修を行った。	8,000
舗装補修 (桐生みどり振興局)	地域の重要な幹線道路である県管理道路における大型車の交通量増加による路面損傷が著しいため、舗装状態の悪い区間の舗装補修を行った。	12,000

**(6) 過疎地域持続的発展支援**

決算額

5,235 千円

## ① 県過疎地域持続的発展方針の策定等

過疎地域の持続的発展に向けた取組を推進するため、令和3年度に策定した県過疎地域持続的発展方針に基づいて、市町村が取り組む市町村過疎地域持続的発展計画の策定を支援した。

## ② 過疎地域いきいき集落づくり支援

過疎集落の住民が主体となって実施する集落の維持・活性化への取組を支援した。

区 分	内 容	事業費
過疎地域いきいき集落づくり支援事業補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家移住体験ツアーを通じた移住促進</li> <li>・1～2週間程度の短期的な農業体験を通じた農業の担い手確保</li> <li>・地元産品を活用したレトルトカレー商品化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など計6件</p>	千円 3,188

## ③ 過疎地域オンライン体感

過疎地域における地域課題の解決や関係人口の創出につなげるため、オンライン会議ツールを活用して地域の魅力や取組を情報提供した。

市町村	実施日	内容	参加者数
下仁田町	令和4年9月3日	手作りバター体験見学、神津牧場ツアー	19人
桐生市	令和4年11月12日	キャンプ飯・たき火体験、移住者対談	18
嬬恋村	令和4年12月17日	クリスマスツリー飾付体験、協力隊対談	13

**(7) 山村振興対策**

決算額

561 千円

過疎・山村地域の振興及び活性化を図るため、県・市町村間で共通認識を醸成するとともに、各市町村における今後の施策や事業への反映を目的に、市町村担当者向け講演会を実施した。

開催期日	内容	参加者
令和5年2月24日	山間集落におけるコミュニティの再生可能性と行政の役割について講演を行った。	市町村過疎・山村振興担当課、県行政県税事務所

**(8) 地域おこし協力隊の活動・定住支援**

決算額

5,744 千円

市町村の制度導入や隊員の活動・定住を支援するため、「地域おこし協力隊情報交換会」や「スキルアップセミナー」等を開催したほか、隊員が自ら必要なスキルを身につけるために行う研修活動を支援する「アドバイザー派遣」を実施した。また、地域おこし協力隊ポータルサイト「ツナグンマ」により、隊員の募集情報や活動情報等を発信した。

・令和4年度地域おこし協力隊導入実績（令和5年3月31日時点）

区 分	実 績
導 入 市 町 村	22 市町村（前橋市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町）
隊 員 数	133 人

・地域おこし協力隊活動・定住支援開催実績

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
地域おこし協力隊 情報交換会	令和4年6月21日	県庁	隊員・OBOG24人、 市町村職員12人、 県職員13人 計49人
地域おこし協力隊 スキルアップ 研修会	令和4年12月7日	県庁	隊員・OBOG22人、 市町村職員7人、 県職員4人、 その他1人 計34人
地域おこし協力隊 交流研修会	令和5年1月26日 ～27日	桐生市	隊員・OBOG30人、 市町村職員6人、 県職員7人 計43人
アドバイザー派遣	令和4年11月5日 ～令和5年3月20日 計5回	片品村、中之条町、 嬭恋村、みどり市	隊員ほか延べ28人
ロードマップ作成会	令和5年3月9日	片品村	隊員3人、村職員2人 計5人

(9) 地域連携強化

決算額

26,762千円

① 地域支援員設置

4つの振興局に地域支援員（地域創生課員）を配置し、デジタル田園都市国家構想交付金について、市町村の交付申請を伴走支援したほか、市町村等による地域課題解決の取組等の支援を行った。

・デジタル田園都市国家構想交付金（市町村分）実績

区 分	実 績		
地方創生推進タイプ（市町村分）	19 市町村	49 事業	489,172 千円
地方創生拠点整備タイプ（市町村分）	3 市町村	5 事業	1,297,483 千円
デジタル実装タイプ（市町村分）	7 市町村	9 事業	636,000 千円

・市町村等による地域課題解決の取組等の支援実績

区 分	実 績
地 域 課 題 解 決 の 取 組 等 の 支 援	35 市町村 202 件

② 利根沼田サイクルツーリズム推進

サイクルツーリズムの推進により利根沼田地域の活性化を図るため、市町村等と共に、利根沼田地域のサイクリング情報を集約したポータルサイトの新設、サイクルイベントやライドツアーを実施したほか、新たに7つのモデルコース造成等を行った。

区 分	実 績
ポータルサイトアクセス数	約 11,200 アクセス

③ 群馬県未来構想フォーラム

「新・群馬県総合計画（ビジョン）」等に対する県民の理解促進を図るため、県内各地域で県の近未来構想や地域の課題等に関する意見交換を行った。

地 域	参加人数	ディスカッションのテーマ
高崎市	300 人	地域経済の活性化について
渋川市・北群馬郡	250	高度な災害レジリエンスの構築
前橋市	300	群馬県の取組と連携した前橋市の取組について
館林市・邑楽郡	150	災害に強い地域づくり
太田市	250	プロスポーツを活かした地域活性化
安中市	200	地方分散型社会について
富岡市・甘楽郡	100	甘楽富岡地域の未来について
桐生市・みどり市	200	広域観光による交流人口の拡大について
藤岡市・多野郡	200	資源循環の推進について
沼田市・利根郡	200	移住促進・関係人口創出について
吾妻郡	200	森林資源を活かしたまちづくり

(10) 土地利用対策

決算額

27,802 千円

① 土地利用基本計画等の管理運営

県土の適切かつ合理的な利用を確保するために、国土利用計画法第9条の規定による「群馬県土地利用基本計画」に基づき、土地利用の総合調整等を行った。

令和4年度は、6件の「計画図」の変更を行った。

② 届出・勧告制度の運用

県内における一定規模以上の土地取引について、国土利用計画法第23条の規定に基づいて届出を受け、利用目的を審査し、適切な土地利用の推進を図った。

<届出処理状況> 令和4年（1月1日～12月31日までの集計）

区 分	受 理 件 数	処 理 件 数				計
		勧 告	助 言	不 勧 告	取 下 げ	
届 出	459 件		54 件	405 件		459 件

③ 地価調査

国土利用計画法施行令第9条の規定に基づき、7月1日を基準日とする基準地の鑑定評価を公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会に委託して実施し、宅地367地点及び林地6地点の標準価格を公表し、適正な地価情報の提供に努めた。

④ 大規模土地開発事業対策

「群馬県大規模土地開発事業の規制等に関する条例」に基づき5ha以上の民間大規模土地開発事業に対して、必要な指導を行い、県土の保全と秩序ある開発に努めた。

(11) 水資源対策

決算額

8,595 千円

① 水資源の総合調整

国土交通省の依頼に基づき、水資源開発基本計画需要実績調査（利根川水系及び荒川水系）を実施した。

② 水資源の確保対策

水資源を将来にわたり安定的に確保するため、水資源開発施設の利用調整に努めるとともに、施設の管理費を負担した。

③ 健全な水循環の啓発

利根川上流の本県と下流の東京都とで行う利根川水系上下流交流事業では、東京都と共同して水の大切さ及びダムの役割を啓発するとともに、水源地域の情報発信を行った。

(12) 発電施設周辺整備

決算額

235,592 千円

発電施設周辺地域住民の福祉の向上等を図るため、電源立地地域対策交付金交付規則に基づき、対象市町村（17市町村）の公共施設運営・整備等に対し交付金を交付した。

区 分	内 容	事業数	交 付 金
道 路 関 連	舗装維持修繕等	13 件	56,506 千円
福 祉 関 連	保育所等運営	8	161,844
水 道 関 連	配水管布設替え	1	4,400
地 域 振 興	農産物加工施設備品購入等	4	11,629
計		26	234,379

2 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費

(1) ぐんま暮らしブランド化推進

決算額

46,104 千円

東京都千代田区に開設している「ぐんま暮らし支援センター」で専任相談員が移住・就職の相談に応じるとともに、市町村と連携したオンライン移住相談会や、群馬県に関心を持つきっかけづくりとして、幅広いテーマでのオンライン移住セミナーを開催した。

また、移住希望者と地域をつなげる移住コーディネーターのほか、移住の現場できめ細かな支援を行う人材を育成するため、「地域の顔育成研修」等の実施により、移

住の促進に取り組んだ。

・移住相談及び移住実績

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相 談 件 数	1,222 件	3,123 件	4,833 件
移 住 者 数	44 組 85 人	34 組 53 人	20 組 35 人

(注) 相談件数は、ぐんま暮らし支援センター、移住相談会、県庁、ぐんまちゃん家、群馬県東京事務所で受けた相談の合計数。移住者数は、移住相談を経て本県へ移住した人数（本人からの報告等で把握できたものに限る。）

・移住相談会及び移住セミナーの開催実績

区 分	実施回数	延べ参加者数
オールぐんま移住フェア 2022（群馬県主催の大規模相談会。3年ぶりに都内でリアル開催）	1 回	来場者 186 人 相談者 386
市町村や振興局等と連携した移住関連イベントの開催及び開催支援	28	1,225
SNS 等で発信力のある人材や企業と連携したオンライン及びハイブリッドによるセミナー	6	405
他県連携移住セミナー（徳島県・岡山県・愛媛県・栃木県・静岡県それぞれとのコラボセミナー、栃木県・福島県・新潟県との4県合同セミナー）	6	267
大規模移住相談会への出展（ふるさと回帰フェア、おいでや田舎暮らしフェア、JOIN フェア）	3	236

・出張移住相談会の開催実績

場 所	実施回数	延べ相談件数
ぐんまちゃん家出張相談会	19 回	310 件
ららん藤岡出張相談会	1	72
道の駅しもにた出張相談会	2	59
川場田園プラザ出張相談会	3	76
こんにやくパーク出張相談会	10	333
桐生暮らし相談会	1	8
道の駅中山盆地出張相談会	2	19

・地域の顔育成研修開催実績

区 分	会場	参加実績	主 な 内 容
市町村担当者向け「オンライン個別相談・PR研修」	オンライン	15 市町村	個別研修 意見交換
群馬県移住担当者研修 （NPO 法人ふるさと回帰支援センター共催）	県庁	35 人	ふるさと回帰支援センターの有効活用、移住・定住をとりまく現状等

区 分	会場	参加実績	主 な 内 容
市町村担当者向け「政策立案研修」	県庁 オンライン	38 人	移住定住政策の戦略的な立案、一步前に踏み出す取組について
人材育成と官民連携研修 （「テーマ対応型協働ミーティング」との連携事業）	NETSUGEN オンライン	43	移住者と地域をつなぐ人材育成や移住相談の体制づくり等
コーディネーターミーティング	県庁	22	移住コーディネーター等のネットワーク化

(2) ぐんまでテレワーク推進プロジェクト 決算額 4,804 千円

都心から 100km という恵まれた立地や豊かな自然や温泉、全国有数の農畜産物、自然災害が比較的少ないなど、本県の強みや魅力を活かし、首都圏の移住希望者や企業に向けてワーケーションの推進や「転職なき」移住促進に取り組んだ。

① テレワークサイト

群馬県移住ポータルサイト「ぐんまな日々」内にテレワークポータルサイトを設置し、県内でテレワーク可能な施設等の PR を行った。

主な掲載内容	閲覧回数
県内テレワーク施設、ワーケーションモデルコース、施設利用者の声、県内テレワーク施設マップ など	22,251 回

② 法人向けワーケーション商談会

都内で、県内のワーケーション受入れ団体等とワーケーションに関心のある首都圏企業とのマッチングイベントを開催した。

③ お試しワーケーション（モニター）ツアー

ワーケーション商談会の結果を踏まえ、県内 5 エリアでお試しワーケーション（モニター）ツアーを開催した。

対象エリア（訪問先市町村）	参加実績
利根沼田（沼田市・川場村・みなかみ町）	計 12 社 17 人
西部（高崎市・安中市・富岡市・下仁田町・藤岡市）	
東部（桐生市・みどり市）	
県央（前橋市・渋川市）	
吾妻（嬭恋村・中之条町・高山村）	

④ 企業向けワーケーション PR 動画

本県におけるワーケーション環境の魅力等を、企業向けに PR する動画を作成した。

(3) 群馬県移住支援金 決算額 137,925 千円

東京一極集中の是正と地方の担い手不足解消のため、東京 23 区の在住者・在勤者が移住して就業・起業する場合や、テレワーク移住、関係人口からの移住を対象に、最大 100 万円を支給する事業を市町村と連携して実施した。なお、令和 4 年度からは、

18歳未満の世帯員一人あたり30万円の子育て加算が追加された。

区 分	支給件数	支 給 金 額
就 職	6件	計 183,900 千円 (うち国県補助分 137,925 千円)
起 業	6	
テ レ ワ ー ク	120	
関 係 人 口	68	
計	200	

#### (4) 外国人活躍推進

決算額 10,507 千円

労働力不足が深刻化し、外国人材獲得の国際競争が増す中、本県に外国人材を呼び込むため、多文化共創を実践するロールモデルとしてふさわしい事業者を「群馬県多文化共創カンパニー」として認証した。また、企業の外国人材の受入れを支援するため、相談会や合同企業説明会等を実施した。

区 分	事業説明	実 績
群馬県多文化共創カンパニー認証制度	多文化共創を実践するロールモデルとしてふさわしい事業者を認証し、その取組について国内外へ情報を発信	申 請 20 件 認証事業者 3 社 情報発信 18 本
外国人材発掘支援事業	ベトナム在住の高度人材と県内企業とのオンラインによるマッチング支援を実施	参加企業 6 社 内定数 2 人
	県外在住外国人留学生を対象としたオンライン合同企業説明会を実施	参加企業 10 社 参加者 152 人
グローバルキャリアフェア in GUNMA	日本での就職に関心のある外国人留学生等と県内企業のマッチングの場として合同企業説明会を実施	参加企業 14 社 参加者 48 人
地域外国人材受入れ・定着モデル事業	厚生労働省及び群馬労働局と連携し、外国人材の職場や地域への定着を促進するため、特定技能人材の獲得を支援	入国受入数 48 人
外国人材受入れ相談会	外国人材の雇用を検討している事業者を対象に専門家（行政書士）による相談会を開催	実 施 9 回 参加企業 19 社

#### (5) 多文化共生支援

決算額 25,107 千円

外国人県民は、地域経済及び地域の活力をともに創る「仲間」であるとの考えを踏まえ、「群馬県多文化共生・共創推進条例」（令和3年4月施行）及び「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」（令和4年4月施行）に基づき、市町村や関係機関と連携し、多文化共生・共創社会の実現に向けた取組を行った。

##### ① 安心して暮らし続けられる環境の整備

###### ア 「やさしい日本語」の普及

あいまいな表現を避け、わかりやすく伝えることに重点を置いた「やさしい日本語」に対する理解を深め、普及させるため、教材を作成するとともに研修会を実施

した。

区 分	実 績
群馬大学医学部生向け講座	9人
県 民 向 け 講 座	29

イ ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営

生活者としての外国人県民が、生活全般に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、多言語で情報提供を行い、生活全般に関する相談のほか、法律相談にも応じる窓口を運営した。

対 応 言 語	相談件数
英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、スペイン語	1,769件

ウ 地域日本語教育体制整備

外国人県民が日本語を学習できる環境を充実させるため、群馬県における日本語教育の総合的な体制づくりを推進した。

区 分	実 績
総 合 調 整 会 議	開催回数 3回
日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 3回・参加者数 28人 (沼田市・藤岡市・オンライン)
外国人日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 11回・参加者数 15人 (伊勢崎市)
地域日本語教室ミーティング	開催回数 3回・参加者数 28人 (前橋市・大泉町・オンライン)
日本語学習支援スキルアップ研修	研修 2回、講演会 1回・参加者数 75人
日本語教育実施機関・団体等への補助	補助団体数 7団体 (県補助 1,706千円) (前橋市・伊勢崎市国際交流協会・沼田市・館林市国際交流協会・渋川市国際交流協会・安中市国際交流協会・大泉町)

エ 災害時外国人支援

災害時に外国人県民に対して正確な情報提供を行うための「災害時通訳ボランティア」の養成及び外国人県民を対象とした「防災訓練（避難所体験等）」を市町村と連携して実施した。

区 分	参 加 者 数
災害時通訳ボランティア養成講座	通訳ボランティア 12人
外国人住民のための防災訓練 (伊勢崎市)	通訳ボランティア 12 外国人等 37

オ 医療通訳ボランティアの養成・派遣

外国人県民が医療機関等で受診する際に必要とする通訳（ボランティア）を養成し、協定医療機関等からの要請により派遣した。

区 分	実 績
養成講座参加者（うち登録者）	18人（5人）

区 分	実 績
医療通訳ボランティア登録者	14 言語・延べ 102 人
医療通訳ボランティアの派遣	229 件

② 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現に向けた取組

ア 多文化共生推進協議会への参画・連携

外国人住民が多い7県1市（群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市）で構成する「多文化共生推進協議会」に参画し、関係省庁への政策提言を実施した。

イ 多文化共生・共創推進月間（10月）

県民全体で多文化共生・共創社会実現への取組を進めるため、メッセージ性のある啓発動画を活用し、県庁舎デジタルサイネージや映画上映前の広告をとおして、集中的に情報発信した。

### 3 文化振興費

#### (1)文化づくり推進

決算額 30,477 千円

- ① 多様な文化芸術活動や地域の伝統文化継承活動等を推進するために設置している群馬県文化振興基金を活用し、個性豊かな地域づくりにつながる県民の自主的・主体的な文化活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
文化づくり支援	・「群馬の文化」の形成につながる、地域での多様で創造性豊かな文化活動（18件）に対して支援	千円 6,568
伝統文化継承	・各地域に伝わる伝統芸能や祭り、行事等を継承する活動（13件）を支援 ・継承のための講習会等の開催や活動団体間の連携推進を図るデータベースを整備	6,506

- ② 群馬県の文化的風土の象徴である「上毛かるた」を活用し、県民の郷土愛や群馬の歴史や文化に対する誇りを育むため、上毛かるた及び関連書籍の発行・販売を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
上毛かるた活用	・上毛かるた発行 4,500 部、販売 7,792 部 ・ガイドマップ「『上毛かるた』ゆかりの地 文化めぐり」、「上毛かるた」で見つける群馬のすがた、英語版上毛かるたの販売の継続 ・上毛かるたの利用許諾 111 件	千円 6,552

- ③ 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、関係機関と連携しながら国内における機運醸成を図るとともに、国内候補選定に向けた要望活動等を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
群馬の温泉文化発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の会を設立(令和4年度末時点で34道県が参画)</li> <li>・温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運の醸成を図るため、県内5か所の温泉地を紹介する動画を制作</li> </ul>	千円 521

## (2) 埴輪王国ぐんまの推進

決算額

35,147千円

本県出土の埴輪が質・量ともに日本一であるという点に着目し、「埴輪王国ぐんま」の魅力を発信・定着させ、観光・地域振興や本県のイメージアップを図るため、周知事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
埴輪、古墳の価値や魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の歴史文化遺産の価値を再認識するとともに、イメージアップを図るため、埴輪や古墳などの魅力を紹介する動画を制作</li> </ul>	千円 305
東国文化副読本の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本（デジタル版・冊子）を改訂</li> <li>・自由研究の募集等により学校現場や家庭における副読本の活用を推進</li> </ul>	1,040
群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化観光推進法に基づき、令和2年8月に国が計画認定</li> <li>・県立歴史博物館を拠点に、県内で出土した埴輪の3Dアーカイブ化、最新のデジタル技術を駆使し展示整備及び展示の多言語化を実施するとともに、歴史博物館を拠点に地域の文化資源等を周遊する文化観光を促進</li> </ul>	27,908
「世界の記憶」上野三碑周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコ「世界の記憶」登録5周年記念事業として、記念講演会、日中書道展等を開催</li> <li>・上野三碑普及推進会議通じて、上野三碑の価値や魅力を広く県民に知ってもらうための周知活動を実施</li> </ul>	2,085

## (3) 文化施設整備推進

決算額

36,831千円

経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった文化振興課所管の施設・機器等について、優先度に応じて計画的に修繕を行った。

## (4) 県立文化施設管理

決算額

101,618千円

文化振興課所管の一部県立文化施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	事業費用協定額	利用件数	利用者数
群馬県民会館 (バイシア文化ホール)	(公財)前橋市 まちづくり公社	千円/年 80,020	件 248	人 95,258
群馬県立自然史 博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)	富岡市	21,259	125	25,165

(5)文化団体等育成 決算額 25,338千円

- ① 優れた文化芸術活動を行うアマチュア文化団体を学校等へ派遣し、子ども向けの講演やワークショップ等を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
は じ め て の 文 化 体 験	派遣団体：伊勢崎マジシャンクラブ等9団体 派遣先：高崎市立吉井西幼稚園等19か所	千円 599

- ② 教育・芸術文化団体を支援することで、県民の豊かな情操と教養のかん養及び文化団体の育成と地域に根ざした自主的な文化活動の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
芸 術 文 化 関 係 団 体 助 成	県民が様々な芸術文化活動に触れる機会を提供するため、芸術文化団体を支援	千円 24,739

(6)芸術文化事業推進 決算額 338,684千円

- ① (公財)群馬交響楽団を支援することにより、県民が本物の芸術文化に触れる機会や子どもたちが生のオーケストラ演奏に触れる機会を提供し、本県文化の向上と普及・振興を図った。

区 分	事 業 内 容	入場者等	事業費
群 馬 交 響 楽 団 支 援	定期・巡回・特別演奏会、音楽教室、楽器セミナー等を実施している群馬交響楽団の運営費等の経費の一部を支援	人 118,374	千円 291,950
群 響 ス ペ シ ャ ル コ ン サ ー ト	障がいの有無に関係なく楽しめるインクルーシブコンサートを、「音楽×アート×テクノロジー」をテーマに実施	814	25,000

- ② アートの力で群馬県を元気にし、県民が誇りと幸福感を感じられる群馬の創造のため、群馬ならではの芸術活動「アーティスティック GUNMA」を推進するための事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ア ー テ ィ ス テ ィ ク GUNMA 推 進	アーティストが地域で創作活動やワークショップを行う AIR アートプロジェクト等を実施し、アーティスト支援、地域振興、アート教育・体験を推進	千円 9,183

- ③ アートの持つ様々な力を活用して、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける求心

力を持つ群馬県の実現及び県民の幸福度の向上を図ることを趣旨とする「群馬パーセントフォーアート」推進条例を制定した。

(7)教育文化事業団運営

決算額

151,066千円

- ① 文化振興事業等を実施している(公財)群馬県教育文化事業団の運営費を助成した。
- ② 県民の文化芸術への創造的活動を助長し、地域の特色ある多様な文化芸術を充実・発展させることにより、個性豊かで創造性に富むぐんまの文化の振興を図るため、県民芸術祭を同事業団に委託して実施した。

・県民芸術祭概要

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
県 文 学 賞	短歌、俳句、詩、随筆の4部門を選奨(小説、評論、児童文学は該当なし)	人 97	千円 1,721
県 展	美術展、書道展、写真展、華道展、大茶会を開催	16,519	2,766
山 崎 種 二 記 念 特 別 賞	県展出品作品から山崎種二記念特別賞(美術、書道、写真部門各1点)を授与		1,144
県民音楽のひろば	県内の各文化施設(7会場)で群馬交響楽団による演奏会を開催	4,195	17,533
群 響 企 画 コ ン サ ー ト	森とオーケストラ(群馬の森)を開催	1,542	5,708
ぐんま新人演奏会	公開オーディション合格者による演奏会を開催	320	412
グ リ ー ン コ ン サ ー ト	新人演奏会出演者によるクラシック音楽に気軽に触れられる演奏会を開催	89	107
小 中 学 校 伝 統 芸 能 教 室	津久田人形芝居教室及び日本舞踊教室を開催(人形芝居3座の教室は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)	376	1,213
伝統歌舞伎の祭典	群馬伝統歌舞伎保存会による演目と、渋川こども歌舞伎による演目に加え、群馬県立女子大学文学部国文学科の教授による歌舞伎の解説を行った。	156	1,263
子どもワークショップ 「はじめての文化・ 芸術ふれあい教室」 vol.7	子どもたちを対象に美術(紙版画)、華道、書道、写真、人形芝居、オーケストラ楽器の楽しさを体験し、鑑賞する機会を提供	103	1,084
メディア芸術推進	マンガ・アニメフェスタ(優れた作品の公募・顕彰・展示とイベント)を開催	8,163	9,823

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
群馬県文化協会連合会 地域文化フェスティバル	群馬県文化協会連合会 10 地域圏のうち、利根沼田、吾妻地域圏で地域文化フェスティバルを開催	人 1,771	千円 425
企 画 運 営	運営委員会開催、広報実施及び報告書を作成		544
計		33,331	43,743

(8) 県立美術館・博物館運営

決算額

995,094 千円

県立美術館・博物館において、県民に優れた芸術・文化等の鑑賞の機会を提供するため、各種企画展を開催するとともに、ワークショップや体験学習等の教育普及事業を一層充実させるなど、魅力ある美術館・博物館の運営に取り組んだ。

区 分	事 業 内 容	事業費
近代美術館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者数 40,694 人</li> <li>・教育普及事業参加者 4,321 人</li> <li>・企画展「うるわしき薔薇」ほか全 2 回開催</li> <li>・「こども+おとな+夏の美術館」「美術館アートまつり」等を開催</li> </ul>	千円 212,685
館林美術館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者数 48,670 人</li> <li>・教育普及事業参加者 5,320 人</li> <li>・企画展「ものがたりの予感」ほか全 3 回開催</li> <li>・学校との連携事業（職場体験、学校訪問、美術館見学）を実施</li> <li>・「みんなのアトリエ」「たてび☆キッズウォーク」等の開催</li> </ul>	179,610
歴史博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者数 53,373 人</li> <li>・教育普及事業参加者 38,992 人</li> <li>・企画展「高崎藩のお殿様」ほか全 3 回開催</li> <li>・学校団体向け学習プログラム、ワークショップ等を実施</li> </ul>	198,044
自然史博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者数 178,995 人</li> <li>・教育普及事業参加者 29,590 人</li> <li>・企画展「魅惑のスパイス&amp;ハーブ」ほか全 3 回開催</li> <li>・サイエンスサタデー（体験学習）を開催</li> <li>・学校との連携事業（館内授業、職場体験）を実施</li> </ul>	339,596

区 分	事 業 内 容	事 業 費
土屋文明記念 文 学 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者数 10,129 人</li> <li>・教育普及事業参加者 15,424 人</li> <li>・企画展「落語と文学」ほか全3回開催</li> <li>・「短歌教室 歌人が学校に！」</li> <li>・講演会、講座等を開催</li> </ul>	千円 65,159

(9) 世界遺産継承推進

決算額

55,473 千円

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産をはじめとする絹遺産の価値を多くの人に伝えることで、地域全体の遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくり推進につながるよう、各種事業を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した世界遺産の4つの構成遺産への来訪者数は、令和4年度は約34万人に回復した。

区 分	事 業 内 容
世 界 遺 産 継 承 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産専門委員会開催</li> <li>・世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金 企業等からの寄附金を積立て、世界遺産・ぐんま絹遺産の継承に活用（令和4年度積立額 2,667 千円）</li> </ul>
世 界 遺 産 保 存 整 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4市町が行う世界遺産構成資産の保存修理に対し補助 (44,723 千円のうち令和3年度から令和4年度への繰越分 15,930 千円)</li> </ul>
日 本 遺 産 ・ ぐ ん ま 絹 遺 産 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐんま絹遺産登録（令和4年度累計 106 件）</li> <li>・ぐんま絹遺産保存活用推進（6市町村・2団体 2,692 千円） 市町村及び民間団体が行うぐんま絹遺産の普及啓発や保存修理に係る事業に対して補助</li> <li>・シルクカントリー群馬プロジェクト 世界遺産等の調査研究に携わる人材の育成を目的とした研究助成事業「絹ラボ」を関係市町や民間企業とともに実施し、世界遺産や絹産業・絹文化などをテーマにした調査研究に対して、研究助成金を交付（助成件数：11 件）</li> <li>・日本遺産推進 来訪者 WEB アンケート（回答者数：291 人）、「日本遺産フェスタ@甘楽もみじウオーク」（来場者数：648 人）を実施</li> </ul>

(10) 世界遺産センター運営

決算額

36,398 千円

世界遺産のガイダンス施設として構成4資産の価値や魅力を来館者に分かりやすく紹介するとともに、大学や民間と連携して世界遺産や絹産業、絹文化の研究に取り組み、講演会や研究紀要などを通じて総合的に情報発信した。

- ・令和4年度観覧者数 33,558人

事業内容	事業費
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育団体受入 37校</li> <li>・学校連携（館外）出張授業1回、オンライン授業3回</li> <li>・教育普及事業参加者（学校キャラバン） 24校 1,007人</li> <li>・セカイトアーカイブ事業 公開に向けた準備</li> <li>・セカイト講演会（伊勢崎市と共催、1回）、セカイト研究会（4回）、セカイト講座（3回）、研究紀要の発刊等</li> <li>・トピックス展示『高山社を支えた人物』ほか 全5回開催</li> <li>・アプリ「きぬめぐり」によるデジタルスタンプラリー 全5回実施 参加者1,429人</li> <li>・セカイトワークショップ 3回（計15日間）開催 参加者326人</li> <li>・セカイトガチャイベント 5回（計19日間）開催 参加者2,282人</li> </ul>	千円 36,398

#### 4 文化財保護費

##### (1) 文化財保存管理

決算額

83,195千円

文化財の保護と活用を図るため、指定文化財の保存修理・設計監理・計画策定等や埋蔵文化財の発掘調査に対する事業費補助及び文化財パトロール等を実施した。

区分	事業内容	事業費
文化財保存事業費補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定文化財 20件</li> <li>・埋蔵文化財発掘調査等 10件</li> <li>・国指定文化財 19件</li> <li>・防災設備保守点検等 8件</li> </ul>	千円 79,391
文化財パトロール	文化財保護指導員 31人（文化財の傷み具合や管理状況に係る報告：276件）	2,016
高山蝶パトロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孺恋村（ミヤマシロチョウほか）：11人</li> <li>・渋川市（ヒメギフチョウ）：15人</li> </ul>	111
県指定文化財（建造物・民俗）管理	県指定文化財の保存・管理・活用状況の実態調査：建造物32件、民俗20件	260

##### (2) 埋蔵文化財保護対策

決算額

6,135千円

公共開発事業等が予定されている埋蔵文化財包蔵地について、事前に保護策策定のための試掘調査等を実施するとともに、県内の文化財情報を整備した。

区分	事業内容	事業費
公共開発関連埋蔵文化財緊急調査	国や県が行う道路建設などの事業地において埋蔵文化財の試掘調査を実施して発掘調査の必要性を判断した（40件中16件で発掘調査が必要）。	千円 5,810

区 分	事 業 内 容	事 業 費
統 合 型 G I S 更 新	統合型GISシステム（マッピングぐんま）において、遺跡・指定等文化財の情報を公開し、年2回、最新情報に更新した。（66件）	千円 313

(3)埋蔵文化財調査センター運営 決算額 47,162千円

(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して考古資料等の保存と活用を行う埋蔵文化財調査センターを適正に管理運営するとともに、埋蔵文化財についての理解を深めるための普及事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
埋 蔵 文 化 財 調 査 セ ン タ ー 管 理 運 営	施設の維持管理を適切に行った。	千円 17,171
埋 蔵 文 化 財 調 査 セ ン タ ー 展 示 普 及	各種普及啓発事業を実施した。 ・発掘情報館来場者数 3,472人 ・最新情報展参加者数 2,618 ・最新情報展関連講演会参加者 60 ・埋蔵文化財専門講座受講者数 31 ・夏休み親子宿題教室参加者 215	24,179
金井遺跡群出土品調査 整理	金井東裏遺跡・金井下新田遺跡出土品の価値の把握のための調査整理を実施した。	2,947
出土品の3D計測アー カイブ	普段見ることのできない遺物の底部や内部等の3D映像をインターネット上で公開するための計測を行った。（縄文土器30点）	2,865

(4)偲ぶ毛の国群馬の魅力発掘・発信 決算額 16,803千円

国指定文化財の保存管理と活用事業に対する補助、国指定史跡である観音山古墳と上野国分寺跡の管理・運営、「群馬県近世寺社総合調査」の成果等の発信を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
観 音 山 古 墳 保 護 管 理 運 営	・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・駐車場賃借 ・解説員4人で見学者への説明に対応した。	千円 4,425
上 野 国 分 寺 跡 保 護 管 理 運 営	・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・見学者のためのガイダンス施設運営。解説員3人で入館者への説明に対応した。 ・社会科見学や総合学習等での学校利用促進のため、史跡上野国分寺跡・史跡観音山古墳の見学案内チラシを作成し、学校及び学校教育関係会議で配布。	8,887

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんまの寺社 魅力発掘・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「群馬県近世寺社総合調査」の完了を記念した講演会を開催し、寺社及び寺社にまつわる文化遺産の継承の大切さを伝えた。（参加者数 129 人）</li> <li>・スマホ用アプリ「ぐんま寺社めぐり」の機能追加と調査成果を踏まえた情報の更新（14 件）</li> <li>・アプリの保守管理（年度末の累計 DL 数 3,595 件）</li> </ul>	千円 3,491

## 5 スポーツ振興費

### (1) スポーツ団体運営費助成 決算額 98,087 千円

本県のスポーツ振興のための各種事業活動が円滑に行われるよう、スポーツ振興施策を県と一体となって推進している(公財)群馬県スポーツ協会の運営に係る人件費を補助し、体制の整備を行った。

### (2) 生涯スポーツ振興 決算額 9,713 千円

県民が身近な場所で継続的にスポーツに親しむことができるよう、市町村や(公財)群馬県スポーツ協会と連携してスポーツ団体の活動の支援を行うとともに、地道な活動により地域のスポーツ振興に功績のあった個人や団体を表彰した。

また、本県が有する優れた自然環境を活かした県境稜線トレイルの活用を促進するとともに、危険箇所の点検や草刈りなどの安全対策を実施した。

### (3) スポーツイベント等の開催・支援 決算額 37,057 千円

#### ① ぐんまマラソン

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、前回中止したりバーサイドジョギングを再開するなど安全安心な大会を開催することができた。また出走権付き宿泊プランやふるさと納税制度の活用など、新たな充実策により県内外から多くの参加者を迎えられ、参加者の健康増進を図るとともに、本県の魅力を発信する機会となった。

種 目	開催年月日	申込人数
フルマラソン	令和4年11月3日	4,550 人
10 km マラソン		3,344
リバーサイドジョギング		3,161
合 計		11,055

#### ② 群馬県民スポーツ大会

広く県民の間にスポーツを普及振興するとともに、健康の保持増進、体力の向上及び生活の活性化を図るため、例年県民スポーツ大会を実施している。令和4年度は、夏季大会と秋季大会、冬季大会(スケート(大雪のため中止)・スキー)を開催した。

### (4) 全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝) 決算額 7,241 千円

新春の一大スポーツイベントであるニューイヤー駅伝を、主催者の日本実業団陸上

競技連合、大会主管の群馬陸上競技協会等の関係機関と連携して実施した。

また、tsulunos の活用（メインスタジオ）や、視聴者プレゼント（県内宿泊券）の実施により、本県のPRを行い、イメージアップを推進した。

**(5) プロスポーツ支援** 決算額 4,112 千円

- ① プロスポーツチームと企業との連携を促進するため、NETSUGEN を活用したイベントを開催した。

ア 群馬スポーツビジネスセミナー

チーム	開催日
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	令和5年3月27日
ザスパクサツ群馬（サッカー）	令和5年3月29日

イ パブリックビューイング

チーム	開催日	対戦チーム
ザスパクサツ群馬（サッカー）	令和4年9月4日	栃木
	令和4年10月23日	水戸
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	令和4年10月15日	東京
	令和5年3月12日	渋谷

- ② 県内の小・中学校等に、プロスポーツチームに所属する選手・コーチ等を講師として派遣し、実技指導や自身の体験・思い等を伝える事業を県内に拠点を置くプロスポーツチームに委託して実施した。

委託先チーム	参加数（実施回数）
ザスパクサツ群馬（サッカー）	87人（3回）
群馬ダイヤモンドペガサス（野球）	207（3）
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	315（3）
群馬銀行グリーンウイングス（バレーボール）	75（3）
ビックカメラ高崎ビークイーン（ソフトボール）	363（4）
太陽誘電ソルフィューユ（ソフトボール）	363（4）

**(6) 競技力向上** 決算額 227,682 千円

- ① 本県のスポーツ振興の基本計画である「群馬県スポーツ推進計画」に基づき、競技力の向上を図るために、(公財)群馬県スポーツ協会が実施する競技力向上対策事業に対し補助を行い、国民体育大会やその他全国大会、国際大会において活躍できる競技者の育成を推進した。特に、令和3年度より開始した小学3年生向けの運動能力向上プログラム「ぐんまプレキッズ」事業が好評であったことから、3会場（前橋・太田・沼田）に拡大して実施した。

・競技力向上対策事業補助

事業内容	事業費
競技団体対策 41 競技	226,650 千円
高体連対策 31	
中体連対策 17	
ジュニア育成 4 事業	
指導者養成資質向上 4	
強化指定事業	
スポーツ医科学活用	
全国大会等選手団支援	

・国民体育大会成績

開催年	回数（大会開催県）	男女総合順位	備考
令和3年	76回冬季（愛知・秋田）	一部中止	本大会が中止となったため総合成績なし
	76回秋季（三重）	中止	
令和4年	77回冬季（栃木・秋田）	（12位）	
	77回秋季（栃木）	22位	

- ② スポーツの振興と郷土意識の高揚に資することを目的として、東京2020オリ・パラ、世界選手権等で顕著な成績を残した競技者に対し、群馬県スポーツ賞を贈った。

事業内容	事業費
令和4年度受賞者数	986 千円
○スポーツ栄誉賞 2人	
○優秀選手賞 144	

- ③ トップアスリートを雇用したい企業と、県内企業に就職したいアスリートのマッチングを図り、競技力の向上と指導者層の確保を図った。

事業内容	事業費
アスリート・ジョブサポートぐんまの設置 登録企業数 17 社（令和3年度：7社） 登録選手 2 人	46 千円

(7) 国体等参加推進

決算額 64,399 千円

- ① 国民体育大会への派遣

本県の代表として国民体育大会やその予選となる関東ブロック大会に参加した監督、選手に対して派遣費を補助し、本県代表選手の活躍を支援した。

区分	事業内容	派遣人数
関東ブロック大会	第77回国体関東ブロック大会 東京都 令和4年6月11日～12月18日・33競技	706人

区 分	事業内容	派遣人数
国民体育大会	第 77 回本大会 栃木県	377 人
	特別国体冬季大会	
	青森県（スケート） 令和 5 年 1 月 28 日～2 月 5 日	52
	岩手県（スキー） 令和 5 年 2 月 17 日～20 日	50

- ② 第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会(湯けむり国スポ・全スポぐんま)開催準備

令和 11 年に本県で開催する湯けむり国スポ・全スポぐんまに向けて、市町村や競技団体と会場地市町村の選定のための調整を行った。

また、「第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会」において常任委員会及び、各種専門委員会を開催し、会場地市町村の選定や開催基本構想や各種基本方針の策定について審議するとともに、大会の愛称を「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に決定した。

#### (8) 大会基金積立

決算額 1,002,155 千円

湯けむり国スポ・全スポぐんまの財源に充てるため、基金の積立てを行った（令和 4 年度末基金現在高 2,004,497 千円）。

#### (9) 障害者スポーツ推進

決算額 38,264 千円

- ① 障害者スポーツ普及推進

特別支援学校の児童生徒を対象に、国際大会で活躍するアスリート等との交流・体験事業を実施した。

また、障害者スポーツコーディネーターを配置し相談・情報提供を充実させたほか、障害者スポーツに関するホームページを作成するなどして障害者スポーツの普及推進を図った。

区 分	事業量	参加者数	事業費
トップアスリート交流	8か所	434人	400千円

- ② 障害者スポーツ競技力向上

県内パラアスリートや選手育成等を担う競技団体に活動経費の補助を行った。

また、令和 11 年の湯けむり全スポぐんまに向けて選手を育成するため、特別支援学校の生徒等を対象とした体験会や練習会を実施した。

区 分	事業量	事業費
パラアスリート発掘・育成	12人	3,341千円
競技団体活動経費補助	7団体	350
全スポ選手等育成強化	23回／1,051人	756

- ③ 県障害者スポーツ大会運営委託

スポーツ大会を通じて障害者の社会参加を促進するとともに、学生・ボランティアなどに運営協力を求めるなど、参加者の相互理解の促進を図ることを目的として、県障害者スポーツ大会を開催した。

区 分	実施競技	参加者数	事業費
県障害者スポーツ大会運営委託	12競技	802人	7,616千円

④ 全国障害者スポーツ大会への派遣

全国障害者スポーツ大会（個人競技）やリハーサル大会兼関東ブロック地区予選会（団体競技及びボッチャ）に群馬県選手団を派遣した。

区 分	事業内容	派遣数
リハーサル大会兼 関東ブロック地区 予選会	第22回いちご一会とちぎ大会リハーサル大会兼 関東ブロック地区予選会 栃木県 令和4年5月21日～5月29日	6競技
全国障害者スポー ツ大会	第22回いちご一会とちぎ大会 栃木県 令和4年10月29日～10月31日・6競技	63人

(10) スポーツ施設の管理・整備

決算額

714,526千円

① スポーツ振興課所管の次の施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう、指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ALSOK ぐんま総合 スポーツセンター	(公財)群馬県ス ポーツ協会	231,000千円	769,971人	63,382千円 (利用料金制)
高崎健康福祉大学 伊香保リンク	(公財)群馬県ス ポーツ協会	130,091	38,409	16,901
ライフル射撃場	群馬県ライフル 射撃協会	2,850	843	398
ふれあいスポーツ プラザ	(社福)群馬県社 会福祉事業団及 び群馬県ビルメ ンテナンス協同 組合の共同体	137,130	34,265	1,941
ゆうあいピック記 念温水プール	(社福)群馬県社 会福祉事業団	70,699	26,749	2,282

② スポーツ振興課所管施設において、経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった施設・設備等について、その優先度に応じて計画的に修繕等を行った。

区 分	事業内容	事業費
工 事 費	ライフル射撃場バツフル工事他	16,780千円
備 品 費	ALSOK ぐんまアリーナ バスケットゴール	10,208
計		26,988

③ 市町村等を対象に、市町村有競技別拠点スポーツ施設を競技規則や施設基準に適合させるための整備に対する補助金を交付した。

区 分	事業内容	補助金額
市町村有競技別拠点スポーツ 施設整備事業費補助金 (補助率 1/2、 上限 100,000 千円)	太田市運動公園市民体育館整備	100,000 千円
計		100,000